

「ポプラディア」の つかい方

百科事典は、あらゆる物事や事柄を調べられる便利な本！何かを調べる時には、次の4つのステップでやってみましょう。



いちごについて調べたいぞ！



1

背を見よう

どの巻に載っているかな？

背には各巻に載っている言葉の最初の文字が書いてあるよ。



「い」の右下に書いてある小さい文字に注目すれば、どちらの巻に「いちご」が載っているか、わかりますよ！

詳しいつかい方は「ポプラディア第三版」の2ページにありますよ。

むむ！1巻にも2巻にも載っているぞー！



のぼす棒や小さい文字はどうするんじや？



2

つめを見よう

どのあたりに載っているかな？

そのページに載っている言葉の最初の文字が色分けして示されているよ。

いちかわ

5月、海老蔵が13代目を襲名予定だったが、延期。

いちかわちよう 【市川町】 兵庫県の中南部にある町。面積は82.67km²、人口は1万1947人。甲斐郡を市川が流れる。町内の大部分は山林であり、市川にそって水田が広がっている。市川上流に生野山があったため、江戸時代には銀の輸送で栄えた。かつては酪農がおこなわれていたが、姫路市に隣接することによって酪農の経営が難しくなった。近年は、近郊農業が産業の主軸となっている。

いちかわふさえ 【市川房枝】 1893～1981年。愛知県生まれ。政治家、社会運動家。農家に生まれ育ち、小学校教師、新聞記者などをへて、1918(大正7)年に上京。1920年、早稲田大学で新婦人協会を結成し、婦人政治権運動を展開。第三次世界戦後は、新日本婦人同盟(のちに日本婦人労働者同盟)に改称。2016年解散)をつくり、女性解放運動をおし進め、社会運動のリーダーとして活躍した。清濁をわかない政治となえて、1953(昭和28)年から5回、参議院議員に当選した。

いちかわみさちちよう 【市川三郷町】 山梨県中部にある町。面積は75.18km²、人口は1万5695人。甲府市の南西部に位置し、北は南アルプス市と接する。2005(平成17)年10月、三郷町、市川大門町、六郷町の3町が合併して誕生した。町の西部は甲府盆地にある。古くから和紙と花火の産地として知られ、市川市、武田家や橋川家の御用紙であった。現在は和紙の産地として日本を誇っている。近年伝統行事であった「神楽」が復活した。また、印刷製造業が発達し、「はんこの町」として有名である。印章生産は全国の約半分を占めており、甲州手形印章は国の伝統的工芸品に指定されている。モモ、ブドウなどの果物やトウモロコシが特産品となっている。

いちがんでカメラ 【一眼レフカメラ】 撮影用レンズをそのままファインダー用レンズとして用いるタイプのカメラ(写真機)。レンズを通った像を、鏡で反射させてファインダーのスクリーンにうつした。その像をみながらピントをあわせる。望遠や接写など、目的にあわせてレンズ交換ができるものや、一体型のもの、また、フィルム一眼レフカメラやデジタル一眼レフカメラなどがある。デジタル一眼レフカメラには鏡(ミラー)をとりのぞいたミラーレスカメラも登場している。

はしら

パノカメラ、デジタルカメラ

いちきくしきのし 【いちき串木野市】 鹿児島県西部の市。面積は112.29km²、人口は2万7725人。2005(平成17)年10月、串木野市と串木町が合併して誕生した。薩摩半島の北西のつけ根に位置し、東シナ海に面する。市の北部は山地、南部はシラス谷地になる。北部に串木野山があり、江戸時代から明治時代にかけて、日本一の金山の町として知られた。現在は漁業がさかんで、串木野港は遠洋漁業の基地として、マグロ漁船や巻き網漁船が出入りし、水産物の加工業も発達している。また、薩摩揚げや焼酎が特産品として知られる。串木野新港の北方には、日本ではじめて建設された国家石油備蓄基地があり、併設された展示館では、石油について学ぶことができる。

いちげんきん 【一弦琴】 弦楽器のひとつ。長さ1m10cm、幅12cm、厚さ1cmほどの板に、1本の絹でできた弦をはった琴。表面に12の音階がついている。左手で指ははめた、音階(材質はタケや榎)という爪で弦を押さえる。同じ音階をはめた右手でさし指でつく。演奏は音階の音の上でこなす。江戸時代から中国より伝わり、幕末から明治時代にかけて大流行した。曲の数は100あまりで『今様』『須磨』など有名。

イチゴ 【苺】 被子植物(真正双子葉類)の1種。生物の分類では、バラ科オランダイチゴ属に属する。多年草の果菜。高さ30cm、南北アメリカに生える原種を交雑と改良を重ねて生みだされた品種で、北半球の温帯を中心に栽培されている。

いちごの見出し語

いちごの果は、5月から6月に収穫される。現在では、新しい品種の改良と栽培技術が発達し、10月から翌年の7月まで栽培、出荷されるようになった。静岡県の石巻をつかった栽培が有名だが、現在はビニルハウス栽培がさかんである。赤い果実に見えるところは花たこの部分が発達したもので、ほんとうの果実は表面についている200個から500個あるつぶつぶの部分。ビタミンCが多い。そのまま食べたり、ジャムやケーキなどに幅広く利用したりしている。

いちじく 【無花果】 被子植物(真正双子葉類)の1種。生物の分類では、クワ科イチジク属に属する。落葉小高木の果樹。漢字名「無花果」は、花が咲かず果実がなるという意味だが、実際は、つぼみの果実のように見える花序(花のう)の内部に、小さな花がぎっしりついている。高さ3～6m。アラビア半島の原産。4000年ほど前から、イスラエルや地中海沿岸地方で栽培、利用されてきた。日本には江戸時代、ポルトガルから長崎に伝わった。果実は夏から秋にかけて収穫される。なまて食べた、ジャムやペースト、乾燥果実などに加工したり用いられる。

いちじげん 【1次関数】 物体の位置が1本の直線上にのみかかっているよう。物体が動く空間の広がりをあらわすことが次元である。点そのものは広がりがないので0次元になる。

いちじしき 【1次式】 次数が1次だけの式や、1次の項と数の項との和であらわされる式。たとえば、 $ax+b(a \neq 0)$ をxについての1次式という。一般に、x、yについての1次式は $ax+by+n$ の形であらわすことができる。

いちじしやうひしやう 【一次消費者】 生物の「食べる」食べられる関係(食物連鎖)のなかの段階のひとつ。単食動物(植食性動物)のこと。たとえば日本にすむものでは、チョウなどの昆虫やウサギなどさまざまな種類がいる。無機物から有機物をつくりだして生きる生物(光合成をおこなう緑色植物や植物プランクトンなど)は生産者とよばれる。ほかに生物を食べる生物は消費者とよばれる。消費者は食べるものによっていくつかの段階に分けられ、一次消費者は生産者を食べる消費者で、消費者のうちには生態数が増えることも多い。

いちじせいちよう 【一次徴収】 男女(夫婦)のする決まりとなる特徴。第一次徴収ともいう。精巣や卵巣のどちらをもっているかという生殖腺のちがいをさす。性別とちがいが、生まれたときすでにあらわれている。

いちじせききやう 【一次徴収】 生まれつきなわっている、何かを求めてまわりにはたかきける力。生きていくために必要な「食べた」「眠りたい」「休みたい」「排泄(便や尿を外にだすこと)したい」などの生理学的な欲求をさす。「肌ざわりよい物にふれていたい」「趣味をそそられたものをもっとよく調べたい」という欲求も、一次徴収とされる。

いちじてんち 【一次電池】 化学反応で電力をつくりだす電池のうち、充電できないもの。充電できる蓄電池が発明されたあとにできたことで、蓄電池に充電するより前のものもこの電池という意味で二次電池とよんだ。蓄電池は二次電池とよぶ。一般的な円筒形のマンガン乾電池、アルカリマンガン乾電池のほか、ボタン形の酸化銀電池や水銀電池、空気亜鉛電池、リチウム電池などが市販されている。また、電池の開発の初期につくられたボルタ電池やダニエル電池、実験でつくる植物電池なども一次電池である。

いちじふさいり 【一事不再理】 刑事事件で有罪無罪かの判決が最終確定すると、同じ事件について、もう一度同じ罪状で起訴することはできないという原則。世界各国で同じ基本原則が定められており、日本では憲法第39条に定められている。したがって、無罪確定後のやり直し裁判の請求は、みとめられていない。

いちじほうていしき 【1次方程式】 未知数の次数がすべて1次である方程式。xを未知の数、nを定数として $ax+b=0(a \neq 0)$ の形にまとめられる。未知数の次数があるとき、その数を元であらわす。x、yを未知の数、n、a、bを定数として、 $ax+by+c=0$ は3元1次方程式とよぶ。

いちじゅういっさい 【一汁一菜】 主菜であるご飯などの穀物に汁物とおかず一品を加えた食事。質素な食事をさすこともある。また、主食、汁物におかずとして焼き物、煮物、なます(漬物)や野菜などを細かく切って酢にひいたもの(もの3品)を加えたものを一汁三菜という。さらに豪華な食事になると、おかずが5品の一汁五菜などがある。

いちじゆ

いちじ

いち

い

小口

小口から見るのも便利じゃな!



4

左上から順に探そう

知りたい言葉はこの見開きのどこ？

見出し語は五十音順に並んでいるよ。

3

本を開いてはしらを見よう

どのページに載っているかな？

「はしら」を見ると、その見開きに載っている最初と最後の言葉の4文字目までがわかるよ。